

東日本大震災被災地ホームカミングデーへの参加

平成26年2月25日（火）から3月2日（日）まで、宮城県仙台市東北電力グリーンプラザアクアホールにて開催された、被災地ホームカミングデーに、宇都宮大学学生4名、教員1名が、26日（水）のプログラムに参加しました。

被災地ホームカミングデーは、宮城県亶理町で震災復興支援を目的に発足されましたNPO法人「亶理いちごっこ」が主催され、震災復興への様々な取り組みを行った団体、支援者、また被災者の方々と共に語り、学び、繋がることを目的として開催されました。その日程の中で26日（水）は『被災地に向き合う学生たち』というテーマで、宇都宮大学の震災復興支援プロジェクトの学生の他、東北大学から地域復興プロジェクトの学習支援活動サークルが参加し、宇都宮大学の報告では、これまで震災復興支援プロジェクトが宮城県亶理町で行ったボランティアの報告を中心に、栃木県内での広報活動や、学生ボランティア推進活動など、震災発生からこれまで行ってきた活動の報告を行いました。

午後は、学生時代にNPO法人などで活動され、現在自ら運営に関わられている2名の方の講演、その後の学生との意見交換会では、積極的な意見のぶつけ合いや情報の共有が行われ、参加学生は多くのことを学びました。

今回の参加を通し被災地ではまだまだボランティアの需要や、支援活動の必要性があることを痛感し、震災から3年が経とうとしています、今後とも支援を継続していくことが大切だと改めて感じた報告会でした。

（発表する本学の学生）

